

# 示 談 書

別紙 2

下記記載の事故（以下「本件事故」という。）に関し、下記のとおり示談を締結します。  
本件示談成立の証しとして本書2通を作成し、甲及び乙で各1通を保管します。

.....年.....月.....日

第一当事者 (甲)

住 所 兵庫県宝塚市東洋町1-1.....

氏 名 宝塚市 代表者 宝塚市長 中川智子..... 印.....

第二当事者 (乙)

住 所 .....

氏 名 .....

## 記

1. 事 故 発 生 日 時 平成 ●● 年 ●月 ●日 午後 ●時●分頃

2. 事 故 地 兵庫県 宝塚市.....

3. 事故の原因状況結果

.....  
上記の日時、宝塚市立●●において、宝塚市教育委員会の職員が●●●●●●の際、  
..... 以下余白。.....

4. 示 談 の 内 容

(1) 甲は、乙の○○○○の修理費用として、金●万●●●●●円を負担する。...

(2) 甲が負担する修理費用は、前号の金員を第4号の専決処分が行われた日の翌日から起算して3.0日以内に、乙が指定する次項（5. 振込先口座）の金融機関口座に振り込むことにより支払う。...

(3) 本件示談に定めるもののほか、本件事故に関し甲・乙間に一切の債権・債務関係の存しないことを相互に確認する。...

(4) 本件示談は、甲における損害賠償の額の決定に係る専決処分が行われることをもって、その効力を生じるものとする。...

..... 以下余白。.....

5. 振込先口座

..... 銀行 ..... 支店

口座種類 .....

口座番号 .....

口座名義 (カナ) .....

以上